



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。 ※ 内はロットNo.表示位置を示します。

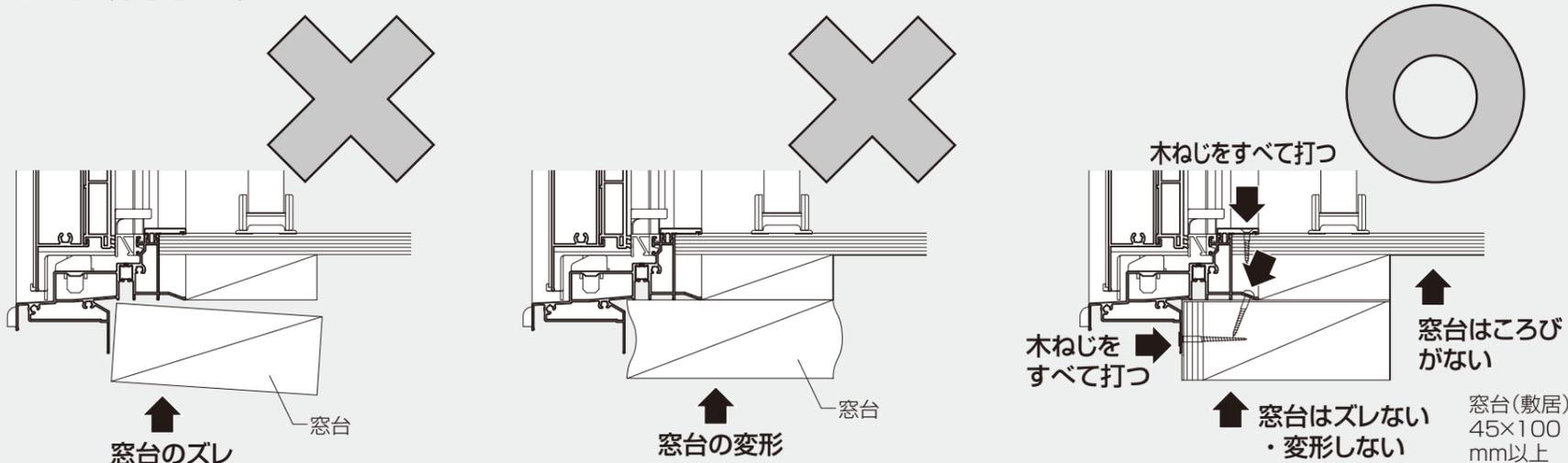
■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

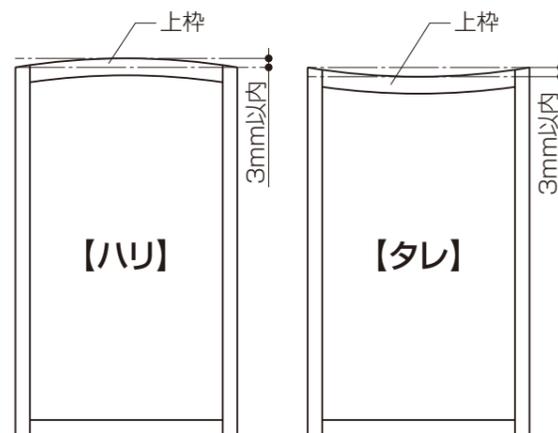
- 本製品は製品重量が最大65kgとなります。本体吊込みは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 風のおおきなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
- ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。



- ・吊元側（丁番側）の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁（30×90）を入れてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
- ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

■取付け上のおお願い

- 必ず指定の木ねじで枠を固定してください。
- 上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
- 縦枠は必ず垂直に取付けてください。
- 本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
- 本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



■取付けねじ一覧表

①	皿木ねじ φ3.8×38		②	皿木ねじ φ3.1×20		③	丸木ねじ φ3.5×25	
---	-----------------	--	---	-----------------	--	---	-----------------	--

■取付け順序

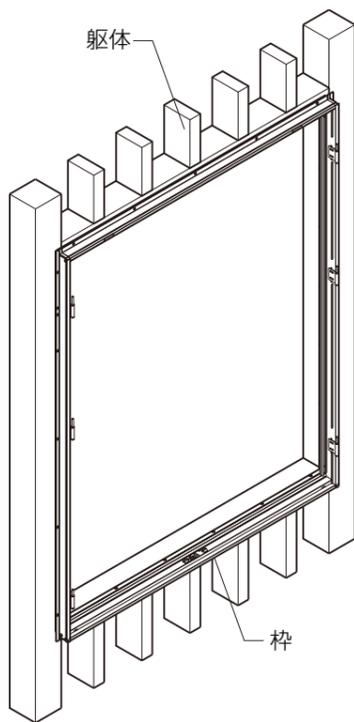
1 躯体の確認と補強

▲注意

- 親扉吊元側・子扉吊元側枠は、
くだ柱に取付けてください。や
むを得ず間柱に取付ける場合は、
間柱とくだ柱との間に補強材と
して構造用合板、又は胴縁
(30×90)を入れてください。

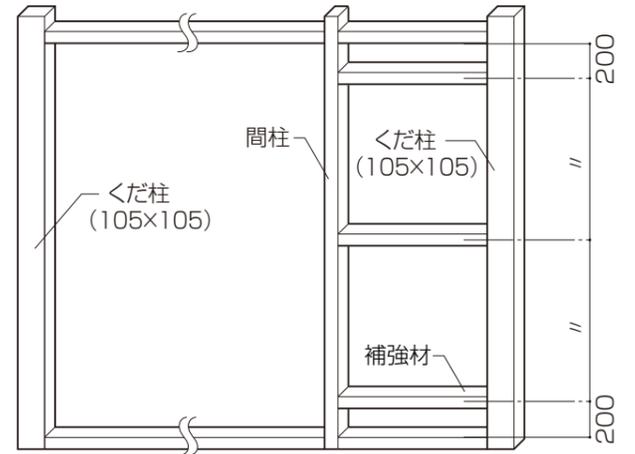
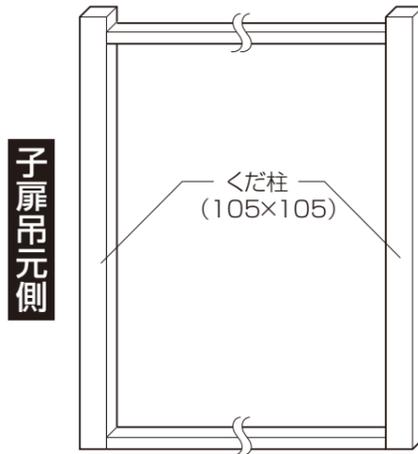
2 枠の仮止め

3 枠の調整と固定



■取付け詳細

1 躯体の確認と補強

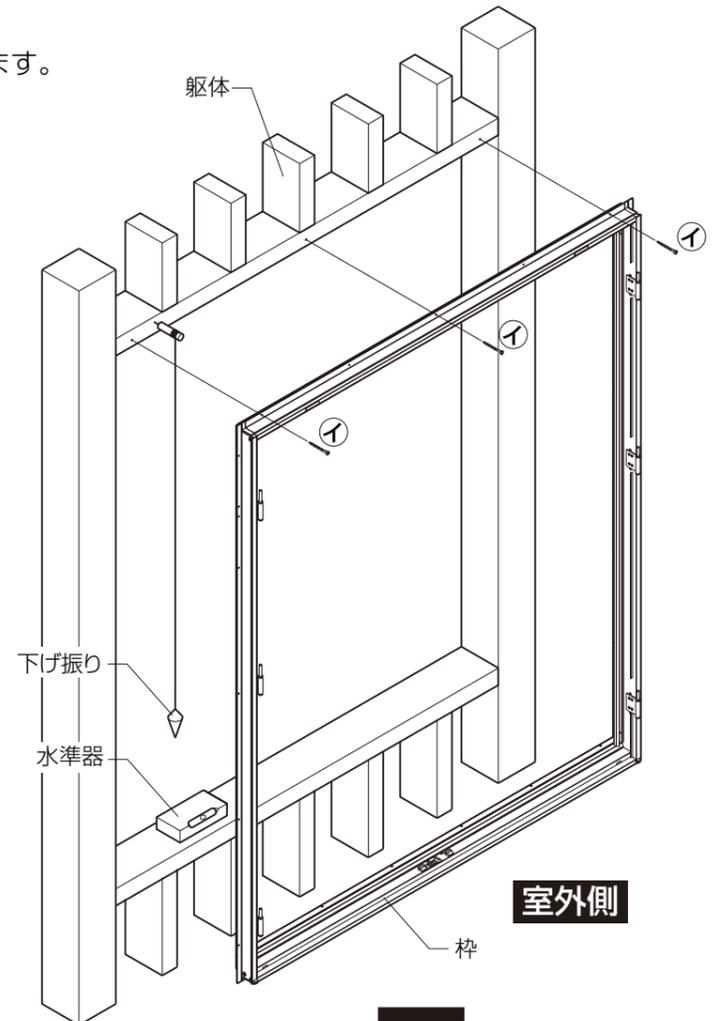


2 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して
取付けてください。



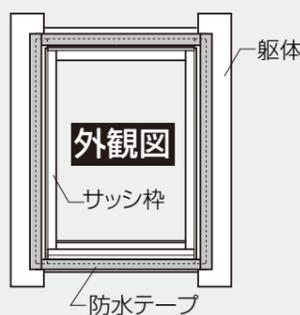
3 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直
した後、固定します。

※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。
(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)

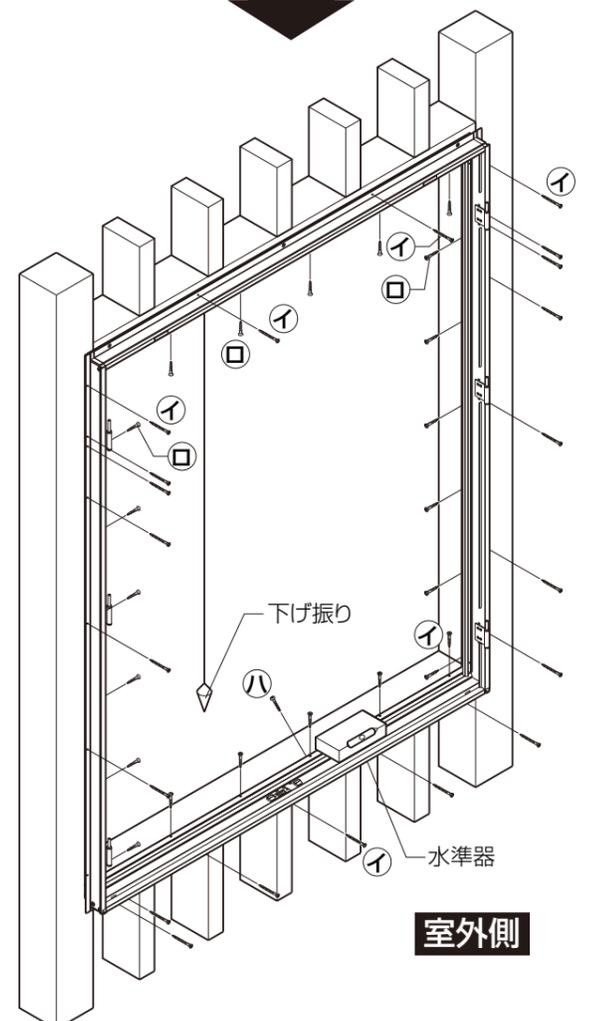
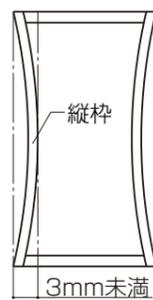
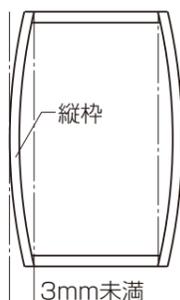
▲注意

- 本製品取付け後、
サッシ枠と躯体の
取合せ部に防水
テープ (別売り)
を張ってください。

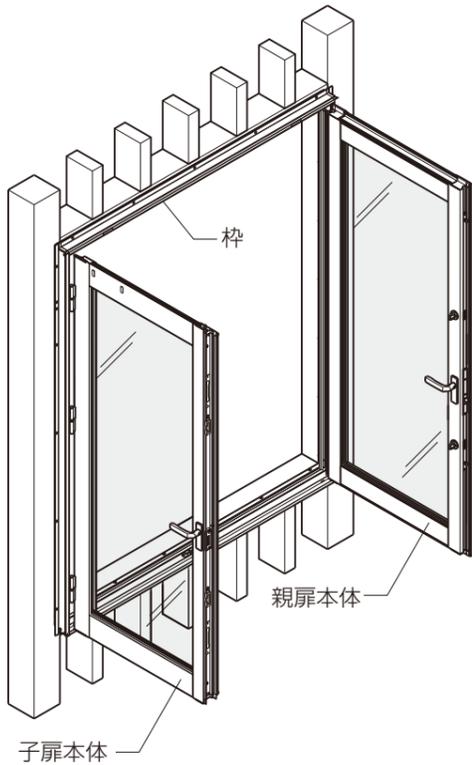


お願い

※縦枠のたわみ・反りは3mm未満にしてください。
グレモン錠がかからなくなります。



4 本体の吊込み



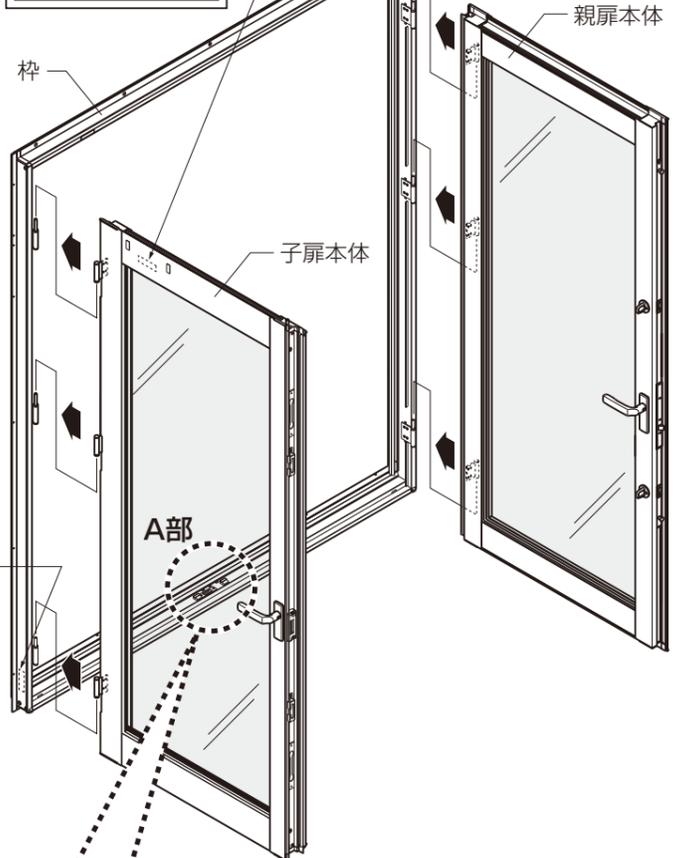
4 本体の吊込み

- ① ドアを90°以上開き、上の丁番から吊込みます。
※丁番は在来工法でH20（サッシH2030）以下
の場合は2枚、H20より大きい場合は3枚付
いています。
- ② 下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブ
ロックを外します。

お願い

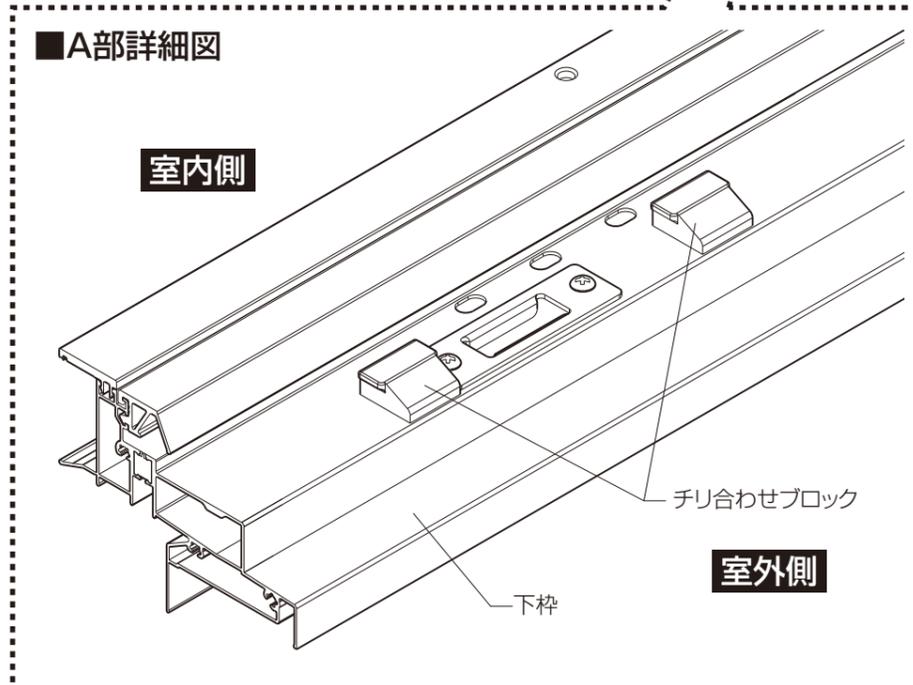
※施工完了後は必ずチリ合わせブ
ロックを取外してください。（ドアの開閉に支障
がでます。）

ロットNo.
表示位置
ブランドラベル



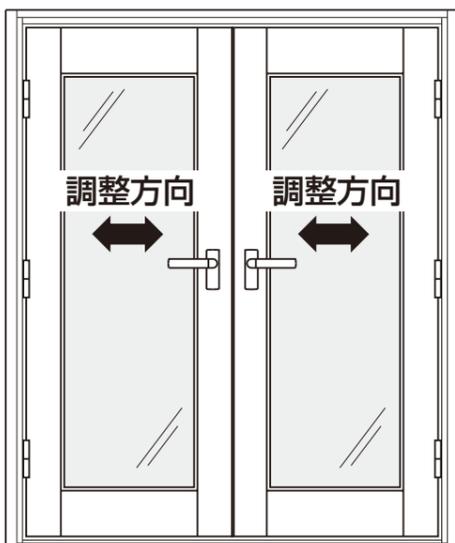
ロットNo.
表示位置

A部詳細図

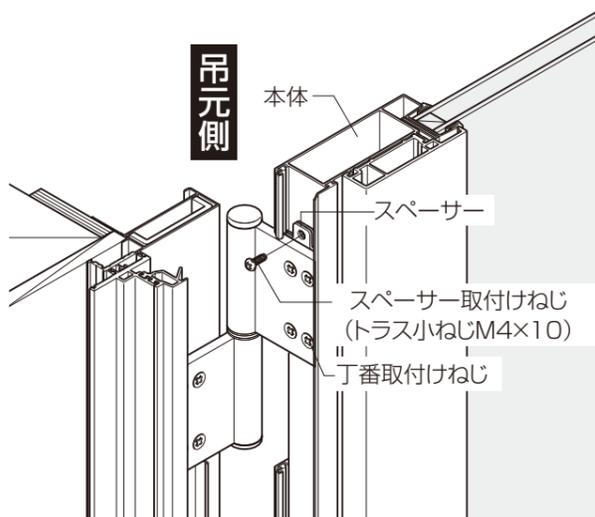


■建付け調整……ここで説明する建付け調整は、桢を取付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

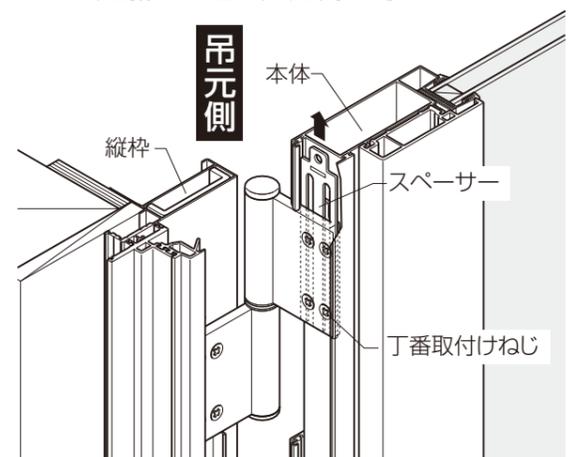
■左右方向の調整



- ※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあり
ます。
- ① スペーサー取付けねじを外します。
 - ② 丁番取付けねじ（4本）をゆるめます。

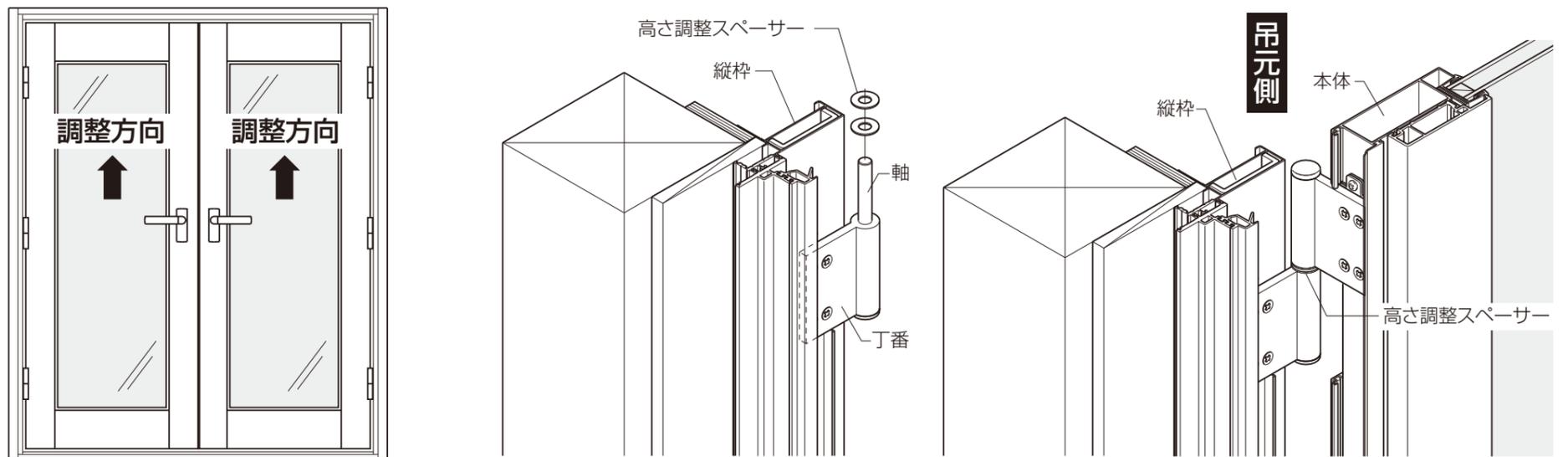


- ③ スペーサーを引抜いて外します。
- ④ 丁番取付けねじを締付けます。
※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm、
本体が吊元側へ寄ります。
※樹脂丁番スペーサーの場合、1枚外すと1.75mm、
2枚外すと3.5mm、本体が吊元側へ寄ります。
（樹脂丁番スペーサーは2つ折りの為、切り離してご
使用ください。）
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



■上方向の調整

- 本体を枠から外し、丁番の軸に高さ調整スペーサー（丁番に同梱）を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm本体が上がります。

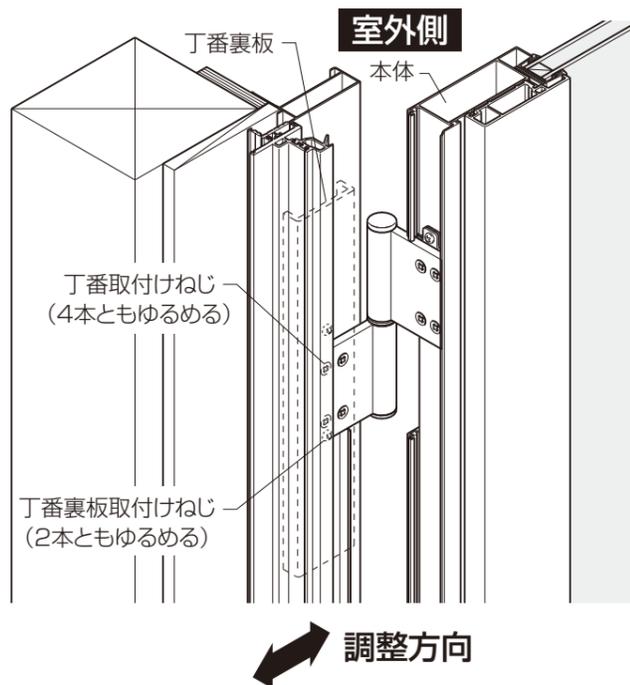


■前後(室内・室外側)方向への調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

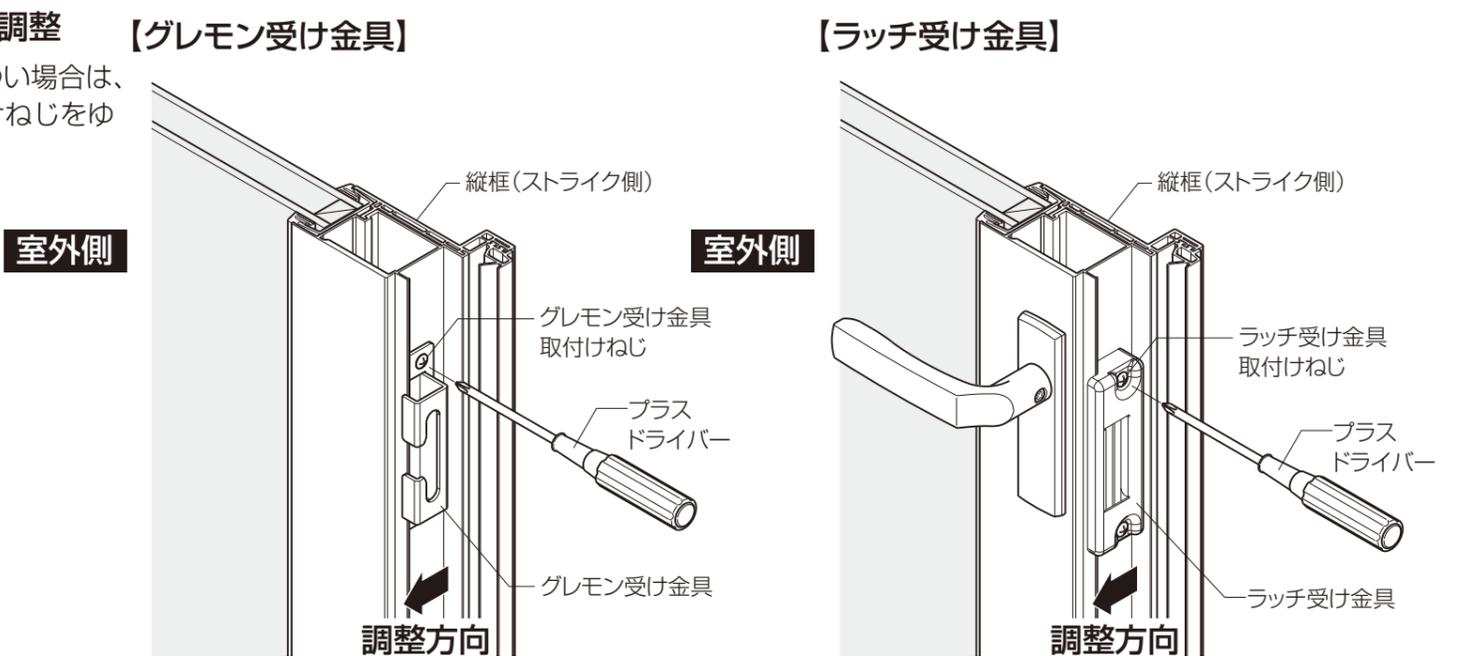
●お願い
※取付けねじ全部を外さないでください。
丁番裏板が脱落します。

- ②丁番裏板ごと室外側に1.5mm、室内側に1.5mm、ドア本体を移動させることができます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。



■グレモン・ラッチ受け金具の調整

- グレモン・ラッチの掛かりがきつい場合は、グレモン・ラッチ受け金具取付けねじをゆるめて位置を調整します。



■子扉の前後方向への調整

- ※ロッド棒がツボに入らない場合は、ツボの取付ねじをゆるめ、ツボ位置を室内側、もしくは室外側に調整します。

- ①子扉を開けます。
 - ②ツボ取付ねじをゆるめると、室外側に2mm、室内側に1mmまで子扉が調整できます。
- ※上下枠ともに調整できます。

